

IR活動

株主・投資家との建設的な対話に関する方針

株主・投資家との対話は管理部門担当執行役員が担当しており、社内の各部署は建設的な対話の実現に向けて、必要な情報の提供など、随時連携を取りながら対応しています。

対話の機会としては、社長または管理部門担当執行役員が説明を行う会社説明会や個別のミーティングを設定しているほか、当社の経営戦略や事業環境に関する理解を深めていただくため、統合報告書をはじめとしたIR資料の発行や、当社ホームページ上での情報開示などを行っています。

対話の場で株主・投資家から寄せられた意見・要望などは、四半期ごとに取締役会に報告しているほか、対話記録も常に監査等委員会を含む取締役の間で共有しています。これらの意見・要望は、対話のさらなる充実に役立てるとともに、経営陣および関連部署に適宜フィードバックすることで、経営戦略のレビュー等にも積極的に活用しています。

なお、決算発表前の期間は沈黙期間として株主との対話を制限しているほか、インサイダー情報については社内情報管理の徹底を図っています。重要事実該当すると判断された情報については、管理部門担当執行役員が一元管理し漏洩を防止するとともに、開示が必要な情報に該当すると判断した場合には、直ちに情報開示を行っています。

対話の主なテーマや関心事項とその対応状況

テーマ・関心事項（2025年3月期）	実施事項
株価、資本効率の向上	資産回転型事業の推進、有利子負債を活用した新規投資、政策保有株式の売却
長期経営計画の時間軸	フェーズⅠ最終年度にROE7.0%以上、フェーズⅡの早い段階でROE8.0%以上を目指す目標に修正
新規事業の推進	5件の新規投資を実施、新規事業に係る人材の採用
資本コストの認識	資本コストの開示を実施
政策保有株式の縮減	政策保有株式の縮減目標を策定し、株式の売却を実施

適時適切な情報開示

国内投資家と海外投資家の情報格差を是正するため、基本的に英文での開示も実施する方針とし、決算短信、アナリスト向け会社説明会資料など、一部においては同タイミングでの開示を行っています。なお、有価証券報告書の英文開示については、今後の検討課題としています。

資料名	対応状況
決算短信	英文資料も同時に開示
アナリスト向け会社説明会資料	
コーポレート・ガバナンスに関する報告書	
適時開示資料	
その他開示資料	基本的に、英文での開示を行う方針。個別に判断して対応を実施
株主総会招集通知	一部を英文開示
会計監査を受けた英文財務報告書（アニュアルレポート）	英文にて作成・開示
有価証券報告書	行政指導や他社の動向を踏まえ、今後検討
サステナビリティレポート	和文資料の後に英文資料を開示